

本試験課題と予測課題との比較検証

【検証結果】

- 本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証を、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
- 表1に示すように、課題(図面)で予測できなかったのは、ワークルーム、セミナールーム、部門指定なしである。名称は若干異なるが、企画展示は郷土資料室、セミナールーム(2分割)は学習室(2分割)の予測が類似問題として解けた。一般開架スペース、児童開架スペース、閉架書庫は、すべての中しているが㎡数が多少異なった。その他として、要求室ではないが、今年は、北側斜線が予測できなかった点である。
- 表2に示すように、課題(計画の要点等)で予測できなかったのは、蔵書数およびユニバーサルデザイン、はと小屋、閉架書庫の構造計画であった。
- 表1と表2からも明らかなように、令和5年の図書館において、研究会の予測3課題は、80%以上の中したと判断できる。

表1 課題(図面)の比較検証 は類似内容

各社	課題名	建設用地			階数	指定床面積			東西南北の条件				要求室							駐車場 車いす (台)	駐輪場 (台)	備考		
		規模 (㎡)	横 (m)	縦 (m)		階	以上~以下 (㎡)~(㎡)			東	西	南	北	図書館部門					設備					
							開架	閉架	学習 読書					作業	他	主室	カフェ レスト ラン	室他	設備指定条件等					
本試験	R5課題	1,680	48	35	3階	自由	~	自由	隣地	道路	道路	隣地	600㎡ 300㎡	150㎡	自習 セミ	荷解 適宜	展示 100㎡	ワーク 100㎡	カフェ 50㎡	対面 適宜	ポンプ室、消火ポンプ室、屋上空調・電気設備	2	20	部門指定なし、北側斜線
研究会	予測課題1	1,496	44	34	3階	1,600	~	2,000	隣地	隣地	隣地	道路	200㎡ 200㎡	40㎡	2室 6席	適宜 (共)	-	-	カフェ 40席	-	空調室、ポンプ室10㎡、屋上空調・電気設備	2	20	その他部門(交流部門)、3層吹抜け、既存樹木
	予測課題2	1,700	34	50	自由 5階	自由	~	自由	道路	道路	隣地	隣地	250㎡ 250㎡	80㎡ B1	40㎡ 40㎡	適宜 (共)	郷土 40㎡	-	250㎡	-	B1設備(受水槽、ポンプ室、電気室)、空調機械室、アラーム弁室	1	30	その他部門(高齢者部門)、道路斜線、杭基礎
	予測課題3	1,800	50	36	3階	2,500	~	3,000	隣地	隣地	道路	道路	250㎡ 150㎡	-	30㎡	30㎡	映像 30㎡	-	200㎡	-	空調室、ポンプ室20㎡、電気室40㎡	1	40 屋内	その他部門(教育部門)、道路斜線、杭基礎

表2 課題(計画の要点等)の比較検証

赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会(計画の要点等まとめ)の検証結果
(1)	一般開架スペースについて、次の①、②の観点から配慮したこと ①蔵書数の確保及び書架等のユニバーサルデザイン②敷地及び周辺条件(自然採光の活用を含む)	1-1図書館のアプローチ計画、1-11一般開架スペース及び児童開架スペースの書籍の管理について考慮したこと ①蔵書数およびユニバーサルデザイン
(2)	施設の機能構成、配置・動線計画について、次の①、②の観点から配慮したこと ①一般開架スペース、児童開架スペース及び企画展示スペースにおける多世代の交流、②施設の運営管理	1-1図書館のアプローチ計画について考慮したこと、1-2ゾーニング計画について考慮したこと
(3)	一般開架スペースに採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと 採用した空調方式、採用した理由及び配慮したこと	3-8設備計画のポイント(空調、換気)、3-10空調機械室(単一ダクト方式)の空調計画
(4)	屋上等に設置する設備(①太陽光パネル、②キュービクル、③設備配管取出口(はと小屋)、④空調室外機等)の配置計画において考慮したこと	予測課題およびユーチューブ解説で屋上設備解説(はと小屋)
(5)	省エネルギー化の実現及び再生可能エネルギーの導入によるエネルギー自立度を高めるために、建築・設備で配慮したこと(ただし、太陽光パネル、LED照明、Low-Eガラスに関する配慮は除く。)	4-2建築計画の環境負荷低減、4-3設備計画の環境負荷低減
(6)	建築物の材料や施工方法等において、二酸化炭素の排出量削減について考慮したこと	4-1環境負荷低減の二酸化炭素排出量抑制
(7)	閉架書庫の構造計画について ①一般開架スペースとの違いや構造的特徴、②それらを踏まえて考慮したこと	閉架書庫の構造計画(全体の構造計画があり、そこからある程度記述可能)